

特集：持続可能な学習教育支援システムの開発と運用

キャリア支援における e ポートフォリオ活用

——持続可能なシステムに向けて——

小川 賀代*

Practical Use of e-Portfolios on Career Support

—Toward the Sustainable System—

Kayo OGAWA*

In this paper, we cover a career portfolio as an example of a sustainable system. We introduce several preceding cases, at inside and outside the country, capable of implementing its portfolio cycle humanly and systematically. Moreover, we introduce Role-Model based e-Portfolio (RMP) as a study case aiming to establish a sustainable portfolio via systematic assistances. These cases explain that a sustainable e-portfolio requires a clear, long-term goal setting and effective operation of both human and systematic assistances.

キーワード：e ポートフォリオ, キャリア支援, 振り返り, 高等教育

1. はじめに

大学を中心とした高等教育の分野では、ここ 10 年で急速に e ポートフォリオの導入が進んでいる。これは、文部科学省や中央教育審議会（中教審）の最近の高等教育にかかわる施策と無関係ではない。2002 年に中教審が「大学の質保証に係わる新たなシステムの構築について」を答申し、2003 年には、文部科学省による教育改革の財政的なサポートとして、大学教育改革プログラム（GP）が開始された。そして、2008 年には中教審が「学士課程教育の構築に向けて」を答申し、「学士課程教育の充実のための具体的な取組みとして、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学受け入れの方針の 3 点」の明確化を求め、大学における教育の「見える化」が義務づけられた。このなかで、学生が自ら学修成果の達成状況を整理・点検するとともに、大学がこれを活用し多面的に評価する仕組みとしての「学習ポートフォリオ」の導入が提言されている。さらに、2012 年には「新たな未来を

築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」の答申が出され、この中でも、学修成果の評価の一つとして、「学修ポートフォリオ」を活用することは、大学が速やかに取り組んでいくべきことと指摘している。

この背景を受け、大学教育における e ポートフォリオの重要性に対する認識が高まるとともに、導入大学も増加傾向にある。平成 21 年度・22 年度文部科学省先導的大学改革推進委託事業「ICT 活用教育の推進に関する調査研究」の成果報告書において、日本の大学での e ポートフォリオの活用は、31.2%となっている⁽¹⁾。10 年前、高等教育機関において、e ポートフォリオを導入している機関はほとんどなかったことを考えると、飛躍的に導入が進んでいるといえる。しかし、e ポートフォリオシステムを持続可能な教育・学習支援システムとして用いるための具体的な方策については、多くの大学で模索の段階にある。

e ポートフォリオには、さまざまな活用方法があり、どのような目的を持って活用するのが明確でない

* 日本女子大学理学部 (Faculty of Science, Japan Women's University)